

第 3 回地域検討会（三重県）で頂戴したコメント等に対する対応(案)

(1)第 2 回地域検討会議事録及び指摘事項について
 質問、コメント等は特になし。

(2)概況調査結果概要について

指摘と対応	
1	<p>【指摘】飛行機で撮影しているので、白などの判別がつきそうところが評価の対象になっていると思われる。しかし、例えば砂浜の後ろに雑草地や灌木地帯があっても、その場所にあるゴミは評価されていないという理解でよい。</p> <p>【対応】その通りである。実際、植生の中にゴミが入り込んでいて、ゴミが見えないという部分がある。このような部分は、確かにこの評価の中には反映できていない。</p>
2	<p>【指摘】これ（航空写真結果）だけ見ると、（共通調査の定点）1 番のところにはあまりゴミがないと受取ってしまう。この資料の扱いは非常に注意していただきたい。</p> <p>【対応】了解した。</p>

(3) クリーンアップ調査及びフォローアップ調査結果概要について

指摘と対応	
3	<p>【指摘】流れてくるライターとペットボトルの分析結果に対して、国内でのライターやペットボトルの販売比率がわかると良い。</p> <p>【対応】情報が入られるか検討する。</p>
4	<p>【指摘】私のところ（鳥羽市）の仕事の関係で 1 点報告する。奈佐の浜で工事をしており、浜へ降りる車路の幅を広げている。流木対応に係る木の回収のために拡幅工事を実施している。</p> <p>【対応】情報としてうかがった。</p>
5	<p>【指摘】説明で「内湾性」という話があったが、答志島は内湾の出口に位置し、かつ、内湾の奥には大都市を抱えている。熊本も同様に、内湾の出口に位置しているようだが、実際に答志島と比較してどうなのか。</p> <p>【対応】熊本も球磨川という有名な川の前面に調査地点があり、流木はその球磨川から出てくる。名古屋や四日市のような大都市は近くにはない。また、湾口は答志島よりは開けていると思う。</p>

(4)その他の調査の進捗状況について（資料 5-1：漂流ボトル調査結果について）

指摘と対応	
6	<p>【指摘】半分ぐらいのゴミが伊勢湾の外へ出ているようだ。今後も電話がかかってくるケースもあると思うが、いつごろまで受け入れ態勢はあるのか。</p> <p>【対応】基本的には、電話がかかってきたものについては、かなり時間が経過しても記録は留めたい。電波を発信するものは、電池の寿命により途中で追跡はできなくなってしまうが、ボ</p>

	トルには連絡先を記載しているの、連絡があれば、その記載は留めることを考えている。
78	<p>【指摘】ボトルを放流した位置の多くは川の伊勢湾口側であるが、宮川と櫛田川は湾奥側で放流しているが、何か理由があるのか。</p> <p>【対応】事前踏査を実施し、基本的に浜から川のみお筋、ボトルが沖に出やすい場所を選んでいる。作為的に分けているわけではない。</p>
8	<p>【指摘】かなり河川水の影響を受けるところで放流したのか。</p> <p>【対応】河口域なので川の影響もあるが、潮汐の影響を考慮した放流時刻を設定した。</p>
9	<p>【指摘】第2回の検討会の質疑で、「地域の方にも参加してもらおうと盛り上がる。」という議論があったが、その点についてはどうしたのか。</p> <p>【対応】地域で活躍しているキャラクターの人の参加について地元のケーブルテレビより打診があり、環境省と相談のうえ、宮川で「イセシマン」が来られた。なお、NHKも取材に来られた。</p>
10	<p>【指摘】ボトルの漂流には、風の影響もあるが1月の風のデータ等はどこで説明されるのか。</p> <p>【対応】5-3の資料で説明するが、シミュレーションの中で、風は今回の放流の日時にあわせた風を吹かせている。</p>

(5) その他の調査の進捗状況について（資料5-3：シミュレーション調査結果について）

	指摘と対応
11	<p>【指摘】ゴミが溜まりやすいところや漂着しやすいところという観点でシミュレートすることは可能か。</p> <p>【対応】今回のように6河川の排出ポイントから流す方法ではなく、沿岸域一様に排出ポイントを設定する方法で、溜まりやすいところ、溜まりにくいところを見ることが可能だと思われる。</p>
12	<p>【指摘】シミュレーションでは、西向きの風が吹く冬場を対象とした結果だが、風が弱ければ三重県側に漂着するということもあるのか。</p> <p>【対応】流況シミュレーションの再現結果の通り、主に南下する流れは三重県側に寄っている。このような流れに乗った場合は、三重県側に漂着しやすい。ゴミの性質にもよるが、浮いているゴミは風の影響を受けやすいという性質があると考えている。</p>
13	<p>【指摘】ボトルを流す調査は、今回で最後になるのか。</p> <p>【対応】来年度の計画は、まだ決定していない。今後、県や環境省と打ち合わせをして決定することになるが、シミュレーションでの検証も視野に入れて検討している。</p>

(6) その他の調査の進捗状況について（資料5-2：定点観察調査結果について）

	指摘と対応
14	<p>【指摘】答志島のゴミ問題は、やはり伊勢湾全体の問題であることが非常によく調査の結果で浮かび上がってきたと思う。伊勢湾再生行動計画というのが昨年の3月に発表され、10年計画でつくられている。この期間内のできるだけ早いところで、こういう問題に対する政策が出てくるように努力していただきたいと思っている。</p> <p>【対応】意見としてうかがった。</p>

(7) 今後の検討事項について（資料6）

特になし

(8) 今後の調査スケジュールについて（資料7）

特になし

(9) 全体を通しての質疑応答

	指摘と対応
15	<p>【指摘】来年度の調査に向けて、もう少し全国調査の対比がはっきりわかる分析方法をお願いしたい。外国起因、都市起因、農村起因と各地域での起因がどこにあるかが大切で、これまでゴミの種類の同定に意識が行き過ぎている。</p> <p>【対応】年間を通じた漂着ゴミの状況を各モデル海岸で調査しており、外国起因など時期的な違いも視野にいれて検討したい。</p>
16	<p>【指摘】流木、ボトルについては、経験的にわかっていた事が、データで証明されたことは大変良い。ぜひこれは環境省として予算をつけて継続していただきたい。</p> <p>【対応】意見としてうかがった。</p>
17	<p>【指摘】海底ゴミの調査を新たな調査項目の中へぜひ加えていただきたい。</p> <p>【対応】本モデル地域では漂着ゴミを対象としており、別途瀬戸内海では海底ゴミを対象とした検討を実施している。</p>
18	<p>【指摘】回収されたゴミが、廃棄物運搬業者の手配がつかず、島にゴミが残っている事に対してどうして行政が対応できていないのか。これは調査の問題ではなく、その手前の問題だろうと思う。この点は、県、鳥羽市がすぐに対応できるよう方法論を考えるなど、あるいは何か法的な問題があるのであれば、どのようにして改善するべきか早く提案し、解決いただきたい。</p> <p>【対応】現状としての状況と今後の課題について検討を実施していく。</p>
19	<p>【指摘】今回19年度の調査に係わる貴重なデータや資料だが、これらどのタイミングでどのような方法で公表されるのか、腹案等があれば説明いただきたい。</p> <p>【対応】現在のこの資料、データの取りまとめ結果等は、少しお時間をいただいているが、環境省のホームページに一般の方がご覧になれる形でアップしている。また、地域の検討会では、地元の図書館等にこういった資料を置かせてもらえないか、という要望の出ている地域もある。いろいろ公表の仕方はあると思っているので、今後また全体の取りまとめに向けても、いろいろ検討させていただきたい。</p>
20	<p>【指摘】今回の調査はゴミの種類の分類が主であるが、全体の調査が終了後に時間を軸にしながら面積当たりどれぐらいのゴミが漂着するかという全国比較も分析いただけると非常にありがたい。</p> <p>【対応】年間を通じた各調査時期における漂着ごみの状況が把握できるものと考えている。</p>